

2024 年 12 月 10 日

日本獣医生命科学大学
獣医学部長 田中 良和
応用生命科学部長 有村 裕

日本獣医生命科学大学における生成 AI 利用ガイドラインに係る 運用手引き（学部）

2024 年 8 月 19 日付け日本獣医生命科学大学における生成 AI 利用ガイドラインにつきまして、以下に学部学生等の運用手引きを示します。

生成 AI の課題

- ・ 情報の信頼性：出力された情報が正しいとはかぎりません。同じ質問をしても、異なる答えが出力されることがあります。また、AI が学習していない情報は出力されません。
- ・ 剽窃や著作権：出力された情報の利用方法によっては、剽窃や著作権侵害にあたる場合があります。
- ・ プライバシーや機密情報の管理：個人情報や機密情報を入力するとデータベースに蓄積され、知らないうちに流出するおそれがあります。
- ・ 学習効果：生成 AI はあくまで補助ツールであり、依存しすぎると学習の効果が薄れます。

生成 AI 利用上の注意

- ・ 生成 AI の出力結果を参考にするときは必ず別の情報源（教科書、専門書など）にもあたり、根拠の確認や関連情報の探索を行きましょう。
- ・ 講義課題資料、実習レポートや研究報告の作成において生成 AI を利用した際は、その事実（利用日時、利用サービス名、入力事項の概要）を必ず明記しましょう。
- ・ 個人情報や機密情報は、絶対に入力しないでください。
- ・ 生成 AI を過信せず、自身で作成した文章の校正（誤字等の確認）を目的として利用しましょう。
- ・ 講義課題資料、実習レポートや研究報告で使用する画像については、事実と異なる画像を生む可能性があることから画像生成 AI を利用しないでください。

生成 AI は学生にとって非常に有用なツールですが、使用する際にはいくつかの注意点があります。以下に、具体的な使用場面と注意点を挙げます。

使用場面

- ・ リサーチと情報収集：生成 AI を使って、特定のトピックに関する情報を迅速に収集できます。
例：歴史のレポートを書く際に、関連する出来事や人物についての情報を集める。
- ・ エッセイやレポートの作成：生成 AI は文章の構成やアイデアの整理を助けることができます。
- ・ 言語学習：生成 AI を使って、外国語の文章を作成したり、翻訳を行ったりすることができます。
例：自身で作成した英語の作文の添削。
- ・ プログラミングのサポート：コードの生成やデバッグを助けることができます。

例：プログラミング課題のコードの一部を生成したり、エラーの原因を特定。

注意点

- ・ 著作権とプライバシー:他人の作品を無断で使用しないようにし、生成 AI が作成したコンテンツも適切に引用することが必要です。
- ・ 倫理的な使用:不正行為（例：試験中のカンニングや他人の作品の盗用）に生成 AI を使用しないこと。
- ・ プライバシーの保護:個人情報や機密情報を生成 AI に入力しないように注意すること。

生成 AI を賢く使うことで、学習の効率を大幅に向上させることができますが、常に注意深く、倫理的に使用することが求められます。